

# しちょうわん 市町連だより



第24号

平成20年12月10日

発行責任者  
千歳市町内会連合会  
会長 北村 功  
千歳市東雲町1丁目11番地  
千歳市社会福祉協議会内  
TEL.0123-27-2525

印刷  
(株)フロンティアエージェンシー

## 平成20年度全国自治会連合会札幌大会に出席して

市町連 副会長 大野 知之  
去る、10月2日京王プラザホテル札幌  
で、全国自治会連合会札幌大会に、出席の



機会を与えていただき感謝申し  
上げます。

主題は「安心・安全な地域づくりにむけて」。道内3町内会の発表があり、札幌市白石区北郷親榮第一町内会の取り組みをご紹介します。

テーマは「災害図上訓練DIGの実践と防災サポーター隊の結成」会員数630世帯。

災害要援護者避難支援について、町内会が中心に活動できる組織「防災サポーター隊」の結成を試みたが、要援護者名簿の作成にあたり、その情報収集が個人情報保護法の壁により困難になり、その解決のため「災害図上訓練DIG」を開催し、防災マップを作成し



各戸に配布。民生委員の皆さんから防災サポーター隊対象者（災害時要援護者）に対し、サポーター隊の趣旨説明をし、支援承諾書の作成にこぎつけました。平成18年4月防災サポーター隊を結成、年1回応急手当AEDの講習会等を行っており、町内結束の強さを感じました。

## 平成20年度「市関係者と市町連との懇談会」開催

本年11月28日ホテル日航千歳を会場に、「平成20年度市関係者と市町連との懇談会」を開催しました。

第一部では市町連から常任理事21名（事務局2名）、千歳市からは山口市長はじめ各部長15名が出席して懇談会が開催され、市町連の町内会から提出された要望事項8項目の説明に続き、市の各部長より項目ごとに回答説明がありました。

続いて意見交換テーマとして、現状の課題、救急医療その他に付いて意見交換を行いました。なお要望事項の行政からの文書回答については、12月中旬に各町内会長宛に送付する予定にしています。

第二部は、市関係者と市町連町内会長との懇親会が行われ、公務ご多用にもかかわらず山口市長並びに各町連のご出席を頂きました。市町連は今後も行政と市町連との関係を密にして、市民協働に向けた町内会の意識改革向上を目指します。今回の懇談会にお力添え頂きました市長並び市関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

去る10月30日、千歳市町連三役は、町内会から提出された「行政への要望書」を取りまとめ、山口幸太郎千歳市長と面談のうえ提出いたしました。市町連要望書の内容につきましては、左記8項目のとおりです。

- ① 町内会館整備（向敷地取得に対する補助制度の拡大）  
町内会館設置基準及び敷地確保、補助要綱の中で工事基準額、補助率、補助限度額の拡大と、老朽化する町内会館の修繕費補助制度の新設及び防音工事の制度拡大検討をお願いいたします。
- ② 地域コミュニケーションセンターの早期建設  
地域的な連帯意識を高め地域の生活環境を整備するためのコミュニケーション活動を目的に、計画的なコミュニケーションセンターの設置が進められておりますが、未だに設置されていない地域があることから、早期の建設実現に向けて努力をお願いいたします。
- ③ 千歳市民病院の診療体制の整備  
医療制度改革などの医療を取り巻く環境は大きく変化し、千歳市においても慢性的な医師不足が問題となっているところです。市民病院は地域の基幹病院として地域医療の充実を図る役割を担い、市民が安心して信頼して受けられる診療体制の整備が期待
- ④ 生活道路（市道）の補修整備  
損傷著しい住宅地内及び未舗装の生活道路（市道）について、計画的な補修整備を進めて頂くようお願いいたします。
- ⑤ 横断歩道及び信号機の設置  
交通量の多い地域における横断歩道及び信号機の早期設置にご努力をお願いいたします。
- ⑥ 街路樹や公園内の樹木の間引き及び剪定  
視界不良による交通事故防止や防犯上の観点から、適時樹木の間引き及び剪定を進めていただくようお願いいたします。
- ⑦ 千歳っ子見守り隊に対する冬装備品の配布  
千歳っ子の生きる力を育てるために保護者、地域、行政が連携して取り組んでいる「千歳っ子見守り隊」に対して、冬期間の安全な活動を確保するため冬装備品の配布について検討をお願いいたします。
- ⑧ 地上デジタル放送に付随した共同受信施設の設置等  
2011年の地上デジタル放送への移行に伴い、地上デジタル放送に対応した共同受信施設の設置等について検討をお願いいたします。

# 安全部会報告

## 「地震」あなたは、大丈夫ですか？

安全部会長 中村 茂昭

「日本列島」地震発生における安全なところは無いといわれ、各所で頻繁に発生している現況において、その対策を早急に進めなければならぬと思われまます。また台風等による風水害に対する備えも然りであります。

先般実施された、千歳市実動防災訓練は、震災発生時の市民活動が肅々といわれその成果は十分な効果があったと思えます。自らを守り(自助)、近隣の助け合い(共助)が被災に大きな役割を果たしてきた過去の教訓が物語っています。行政・自衛隊等(公助)公共機関は、1週間から10日位は期待できない現状だといわれています。



そのため、安全部会では、例年他市町村の実動防災訓練(特に札幌市澄川連合会)の見学研修を実施し、発災時住民が自ら何をしなければならぬのかを学んできました。更に各種機材の使用体験等の実施はその効果に大きなものがあると思えます。訓練終了後各年齢層(男女)に対してアンケートを行った結果、全員が訓練の効果を高く評価し、危機管理に対する思いが注目されます。

また札幌市市民防災センターにおいて震災時の体験研修を実施し、町内会防災組織の設立促進とその活動要領を学んで頂きました。そして、夕張市滝ノ上公園の夕張川に露出している逆転断層・千歳市泉郷ケヌフチ逆転断層を見学し、自然の力の恐ろしさを感じたのであります。千歳市周辺には、石狩低地

# 環境部会報告

## 「資源回収の現状と問題点」にかける研修会を終えて

環境部会長 長谷 勤

私も環境部会が主催する研修会のテーマを「資源回収の現状と問題点」と定め、4町内会に事例発表を求め、会長さんがパワーポイント方式で自由に説明することとしました。

6月から、4町内会の選出・資源回収作業現場撮影・使用機材の調達等々、最終予行演習は10月の本番ぎりぎりになりました。19日、120名の参加で大盛況でした。

川端環境センター長が公社統合計画に伴う資源回収と還元金問題について講演。ついで

- ① 富士町内会(村上会長)平成13年資源回収崩壊の危機を話し合いで解決、快調な成果を実現
- ② 末広西町内会(塚本会長)アパマン多く町内会未加入も多いが資源回収は車中で和やか
- ③ 自由が丘町内会(氏家会長)マンモス町内会完全当番制で晴雨無関係の23ヶ所青空回収
- ④ 北栄南町内会(竹山会長)平成19年業者の

東縁断層帯等幾多の断層があります。いつ発生するか分からない震災、日頃から物心両面の準備が必要不可欠であります。そのため個人はもとより、各町内会単位の防災組織設立とその訓練が必要と考えます。

最後に、本年まで各種研修にご参加頂きました皆様方に感謝申し上げますとともに、町内会活動において実践下さいませ様お願い申し上げます。

## 町内会資源回収《現状と問題点》



個別回収へ移行し、資源回収の過剰労役等解消との四町内会長さんの事例発表がありました。終わりに、本研修会はあくまで町内会の情報交換の場です。もっと活発な交換のため、構成・時間割等精査すべきと思いました。

### 北海道洞爺湖サミットへの思い

環境部会長 長谷 勤

7月7～9日開催のG8サミットを全世界に発信する報道拠点、国際メディアセンター（IMC）がいろいろな環境配慮技術を集約した仮設構造物（建築資材の95%をリサイクル）であり、しかもサミット終了後の7月10日解体作業開始との情報を知りました。

6月18日私は留寿都へ走りIMC直下に立ちました。総工費約30億円、横幅170米奥行60米、鉄骨造り二階建て延べ床面積1万1千平方メートル、横幅170米高さ12メートルの壁面緑化ルーバーには、北海道の自生種33種1万5千株が15段の棚に植栽。棟下部に7千トン収容の雪室。ソーラーパネル……「これがIMCだ」と感激、その威容に見とれ、7月14日視察研修日。まだ外観が立派な時にぜひ皆にみていただきたいと思いました。

★7月11日の道新。留寿都村はサミット前から小中学生の見学を道や外務省に要請してきたが、同省は「ノー」。

村民の願い虚し。

巨額を費やし地域住民を巻き込んだ、北海道洞爺湖サミットは果たして何を遺したのだろうか。



### 福祉部会報告



### 福祉講演会 『地域福祉と町内会の役割(機能)』

福祉部会長 沼田 常好

福祉部会年間行事であります「福祉講演会」が10月11日（土曜日）午前10時より行われました。週末の朝10時という条件において約100名弱の方々にご参集いただきました。ありがとうございます。

さて、地域福祉の推進は、社会福祉法第4条の規定により「誰もが地域社会の一員として暮らせる社会を実現する」という目標が明記されており、今後、地域社会が担う役割は大きいと考えます。そこでNPO法人・シーズネット北海道の岩見太市氏にご講演をいただきました。その中で地域との関係の希薄化と日本本来の家族の絆という家族機能の激減が現在独り暮らしの高齢者世帯の増加を招き「孤独死」という結果となっている状況にあるとの事です。

また、高齢者世帯による介護についても高齢者である配偶者が行う深刻な状況下にある

ることが現状であり、地域、町内会等の役割機能強化がさらに必要であるとの事であります。

この講演により得た事は「家族、地域」の係わりを大切にしていけるのが原点であるように考えます。

最後に、パネルディスカッションにご協力いただきました千歳市保健福祉部長 山口様、千歳市社会福祉協議会会長 力示様、弥生町内会会長 大古瀬様に対しまして衷心より御礼申し上げます。「福祉講演会」のご報告とさせていただきます。

### 女性部会報告

### 『秋季研修会』

女性部会長 原口 菫子

日毎にきびしい冬の訪れが深まる、四季の移ろいに触れ、さまざまな思い出もよみがえる年月と人との交感がある、その背後には世の激浪を歩いて作ってこられた先輩方の思いが強く

心に残っている私にはこれからの進む道のりが、遠く感じられております。やまとの里、暢寿園のボランティアも10月11



日終わりました。参加して下さいました大勢の大人の中に、小学5年生が2人参加してくれまして自ら学ぶ体験をしてくれた事は、豊かな健全な心を育み、これから地域社会に貢献してくれるかもと楽しみにしております。秋季研修会を10月30日に「みんな、楽しくエコライフ、家庭から温暖化防止」をというテーマで、講師に北海道地球温暖化活動推進員 岡崎朱実様をお迎えして実施いたしました。

エコも大事なのは積み重ね、温暖化防止のためには現在の「CO2」排出量を半分にする必要があると感じました。この目標を実現するには、大変な努力が必要かと思いますが、私共の毎日の生活の一部節約を見直しする事によって、大きな集力となるかと思われま

### 編集後記

### 市制施行50周年・そして

▼洞爺湖でのG8並びに千歳支笏湖を中心としたJ8サミット開催は千歳が世界に情報発信される機会となりました。それを契機とした、全国規模の大会開催等、「北海道の年」20年でありました。▼多くの行事が行われましたが、市町連各部会の活動内容の紹介が多くの役員・会員が担っている町内会活動の役割について、理解の一助となればとの思いで、部会員一丸で取り組みました。また、試行錯誤ではありますが、情報発信を担う広報部会よろしくお願ひします。

広報部会一同

# 信濃連合町内会

創立46周年

会長 中村 茂 昭

## 連合町内会館落成にあたり

信濃地区に自治組織が設立を見  
てから46年の歳月が流れ、先人の並々  
ならぬご苦労を賜り立派な町内会  
として現在に至りました。昭和37年  
第7師団が東千歳に移駐したこと  
に伴い千歳の住宅事  
情が逼迫し、自衛隊員  
等の集団住宅として  
昭和37年10月完成、次  
いで38年に第2期建設  
39年に第3期建設が  
完成されたのであり  
ます。

当初の地名は、北信  
濃と称し、入植者によ  
る「部落会」、そして各  
年建設により「704  
番地会・むつみ団地」  
、「白樺団地」と4自治  
会が逐次設立された  
ので有ります。40年7  
月には、4自治会を統  
合し、信濃町自治会が  
結成され42年にバス  
路線運行開始、43年10  
月に信濃小学校が開校、  
44年7月会員の強い  
要望の会館建設を教  
員住宅払い下げにより、  
解体運搬・用地の整地・  
基礎作業等すべて会  
員の労力奉仕により落成しました。  
この年10月には新町名、信濃1丁目  
から信濃4丁目と名称が定まりま  
した。

しかし、急激な世帯増加により町



連合町内会館落成式典 平成20年9月13日

内会館も手狭  
になり、51年10  
月北陽高校仮校  
舎  
の払い下げを受け2回

目の落成を

しました。53年には、  
信濃町自治会を信  
濃町内会と改称し、  
町内会の道路全舗装  
活発な町内活動等  
を行ってまいりましたが、  
末端までの連絡運  
延等の問題があり、  
平成11年3月各丁  
目毎の町内会とし  
て分町し、併せて信  
濃連合町内会を設  
立したのであります。  
その後会館も老  
朽化  
し、危険を感じると  
ころとなり、会員の  
ご理解を頂き20年  
9月初めて新築に  
より落成したので  
あります。この会館  
は、入り口から全館  
バリアフリー、節水・  
節電機能、多目的ト  
イレの設置、ガスも  
プロパンにし防災等有事に配慮し、  
環境にやさしい作りとなっております。  
防災、防犯、子育て支援、高齢者支援、  
青少年育成等地域福祉の発信拠点  
として期待されています。

## 記念事業をおこなった

### 町内会を

### ご紹介します

## 清流町内会10周年

千歳市清流町  
内会力示武文会長  
の創立10周年記念  
式典・祝賀会が10月19

日、ANAクラウンプラ

ザホテル千歳で開催。関係者80  
人の出席を頂き盛大にお祝いを致しました。

清流町内会は、昭和45年に「根志越第  
三町内会」として世帯数約60戸で発足。  
その後、平成4年頃から始まった千歳  
市施行方法の土地区画整理事業による  
宅地造成開発が進む中、平成10年に町  
内会活動の拠点となる新町内会館を建  
設翌11年には、町名変更に合わせて、そ  
の名に「清く、明るく、すがすがしい町  
づくり」の願いを込めた「清流町内会」  
として新たなスタートを切っております。  
現在では、1200世帯を超える若  
く活力ある町内会として、夏休みラジ



才体操、ボウリング大会、子供餅  
つき大会の開催、老人クラブ「清  
流親和会」による小学校花壇の苗  
植指導や交通安全運動への参加  
を始め、春・秋親睦パークゴルフ  
大会、夏祭り、敬老会の開催等、盛  
りだくさんの行事の開催により  
住民の交流と親睦を図るなど、活  
発な町内活動を展開してありま  
す。また、犯罪や交通事故のない  
安全なまちづくりに向け、自主防  
災組織を結成し、防災・防火活動  
を展開すると共に役員や生活環  
境部を中心に「夜回り」を実施し、  
防火・防犯に努めております。  
創立10周年を一つの節目とし  
て、町内会活動をより一層発展さ  
せて参りたいと存じますので、関  
係機関のご指導・ご協力を賜りま  
すようお願い申し上げます。

# 清流町内会

創立10周年

会長 力示 武文